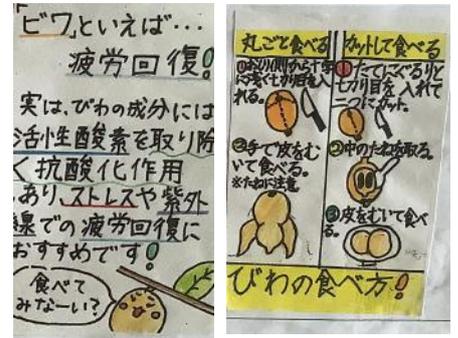


県内学校ミニ・ニュース

(南房総市立富浦小学校)

広がる青い海、そして大房岬が一望できる豊かな自然に囲まれた富浦小学校では、長年大切にしている『チャレンジ・ネバーギブアップ・励まし合って』という合言葉の下、教育活動を進めてきています。

校内研修では、令和元年度から「書くこと」に焦点を当て、『自分の思いや考えを、適切な「ことば」を使い表現できる子』を目指し全校で取り組んでいます。しかし、「ひとまとまりの文章を書くこと」は、子どもたちにとって根気のいる作業です。また、その指導にも時間はかかります。しかし、「ことば」による他者とのつながりは、人間関係を構築していく上でとても大切な力です。ですから、子どもたちと職員で一体となり、「書く」活動を続けてきています。その結果、子どもたちは「書く」ということに抵抗感を示さず、自分の思いを表現できるようになってきています。



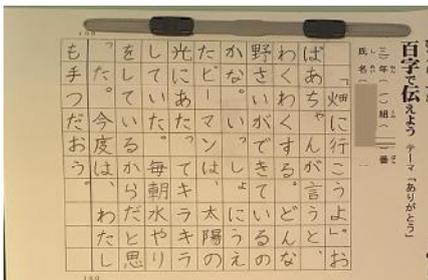
子どもの目の高さを考え掲示した
全校児童の様々な作文・詩など



内容について考えたり構成を学
んだりする国語科の授業



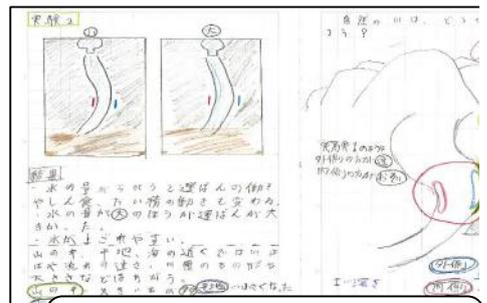
新聞記事を読んで要約した文章を、
互いに読み合い意見を交流



『百字で伝えるありがとう』市全体で
取り組んでいる百字作文



文章だけでなく絵も自由に書き表
現する低学年の作品



自分の考えを書くことを、国語以
外の教科でも重視

様々な場面や機会を捉え、日常的に書く場を設けています。その際、「書いてよかった」と感じられるように、子どもたちにとって書く必要のある場をどの学年も大切に実践しています。

「書く」という活動を通すことで、考えが整理され伝えたいことが明確になったり、一旦立ち止まり自分を振り返ったりすることができます。また、自分の思いや考えを、言葉を通して伝える大切さを子ども自身も感じ始めています。これからも、「書くこと」で、自分自身の生活や考え方を見つめ、適切な言葉で思いや考えを相手に伝えられる子どもを育てていきます。

この件についてのお問い合わせ
企画管理部教育政策課
電話：043-223-4015